

門真市第1地域包括支援センター活動計画書、活動報告書（令和7年度版）

資料1-①

●令和7年度当初の値	
箇域内の居宅介護支援事業所数	8
主任介護支援専門員の人数	36
介護支援専門員の数	16

●令和7年度のケアプラン総数	
基準月	ケアプラン作成数
令和7年3月	203
令和8年3月	/

事業	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績(4月~8月分)		当該年度実績		自己評価	前年度の反省を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容のまとめと課題		上半期実績に対する市の評議
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数			上半期	上半期	
ケアマネジメントの継続的業務	事例検討会・研修会(法定外研修含む)	2		10	655	5	320	1	14			介護支援専門員が円滑に業務を行えるよう、支援困難事例への助言や自立支援・重度化防止につながるケアマネジメントの支援を行います。また、介護支援専門員の資質向上のため、事例検討会や研修会を実施し、専門員同士のネットワーク構築を目指して場を設定します。元気はつら利用者数(直持ち)	自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメント支援として研修を検討中だが、現時点では実施に至っていない。K3会議を通じて地域との研修内容を協議中。オムロンシステムは8月導入済だが、包括支援センターでの入力件数はまだ数件程度であり、今後の活用促進が課題である。	オムロンシステムには数件の入力という状況であるため、アセスメントの向上のためにさらなる活用をしていただきたい。		
	うち、他団域との合同開催数			7	442			0	0							
	ネットワーク会議(園域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など)	2		28	360	2	36	6	81							
	元気はつら利用者数(直持ち)	10		5		10		5								
	元気はつら利用者数(委託)			2		10		1								
ケア地域会議	個別地域ケア会議 延べ件数(実件数)	延べ3		4		3		1				約2年前から検討していた防災訓練について、小路町で机上訓練の実施が決まり、地域の福祉事業所やケアマネジャーと連携し、実効性のある訓練を目指す。訓練を通して事業所と地域との距離を縮めることを目指す。	地域ケア会議で4年前に防災訓練を抽出し、今年度やっと西小路で机上訓練を実施。11月には避難訓練を予定。高齢者の不安に寄り添い、他地域への展開を視野に広報協力を考えている。	かねてより準備していた防災訓練について、地域の事業所等と連携しながら実施していただいた。訓練の実施結果を予定。事業所等が地域との連携を図りやすくなると思います。		
	園域地域ケア会議	1		2		1	10	1	19							
把握事	基本チェックリスト実施件数		30		56		58		15			引き続き教室や訪問時に実施をする。	継続し実施していく。	引き続きお願いします。		
普及介護啓発事業	介護予防教室	6	60	17	221	6	60	1	10			関係機関が開催する介護予防をテーマとした教室等を地域住民に広く周知し、正しい介護予防の知識の普及啓発に協力する。年間の開催回数は減少するが、その分内容を精査し、質の高い実施を目指し、限られた機会を有効に活用する。	今年は、関係機関が開催する一体型の教室を周知したり、チラシ配布とアンケートを実施しました。これまでの教室と一体型が重複しないよう内容を調整し、高齢者の介護予防に特化した内容を目指しています。開催回数は減少傾向ですが、今後は増加を図っていきたいと考えています。	一体型の教室を周知したり、チラシ配布をしていただき周知に努めていただき。また、これまでの内容と重複しないよう内容の調整をしていただきました。今後、開催回数の増加も現段に入れつつ、引き続きお願いします。		
	出前講座を含めた普及啓発			19	338			0	0							
	うち、他団域との合同開催数							0	0							
地域介護予防活動	通いの場への支援			14	123	5	50	3	32			通いの場が少ない地域を中心に立ち上げや継続支援を行い、生活支援コーディネーターと連携してリーダーに助言します。高齢者保険事業と介護予防の調整を図り、体力測定など開催回数は減少しますが、継続的にサポートを実施します。	介護予防教室の開催にあたり、講座も実施しております。運動に飽きたとの声がある会場には100種類ほど異なるDVDを配布するなど多様な後方支援を行い、生活支援コーディネーターと共に自治会長への訪問も進めています。	講座を開催したり、手探りでサポートを実施していただきました。また、自治会長への訪問等、地域との連携にもサポートいただきました。		
	通いの場への専門職(リハ職等)派遣(派遣回数と通いの場の人数)	3	15	8	89	4	44	3	32							
	ボランティア等養成及び活動支援		1	0	0	1	10	1	19							
介護予防開拓拠点の開拓	うち、他団域との合同開催数			0	0			0	0			昨年声かけを行った場所以外の地域や団体を重点的に訪問し、新たな通いの場への参加を積極的に呼びかけ、地域への広がりを図る。	本年6~7月頃に向島自治会長へ挨拶に伺い、これまでご案内している百歳体操などの通いの場を実施できないか提案いたしました。その後、秋口頃から検討を進めていきたいとのお話をいただいております。	自治会長への訪問・挨拶を通して、新たに通いの場への参入にご尽力いただきました。引き続き調整よろしくお願いいたします。		
	地域内立ち上げた通いの場の数と参加者数	1	5	3	23	1	5	0	0							
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム対象者把握票実施件数		10		0		10		2			認知症ケアバスの配布や認知症に関する教室等を通じて、認知症の正しい理解を促進するための普及啓発活動を継続して実施する。引き続きチアダンスオレンジまたはオレンジチームの活動を広げ、地域全体で認知症への理解を深め、支援ネットワークの強化を目指す。園域内で新たに認知症カフェが立ち上がるよう、法人が実施している認知症カフェがロールモデルの役割が果たせるように支援をしている。	周知活動としても認知症カフェができるないため法人に協力してもらいロールモデルとして、認知症カフェを開催し、認知症の方の参加も徐々に増えています。活動の場は皆さん楽しみにしております。今後も初期集中支援などの提案を継続し、ケースごとに検討を進めています。	ロールモデルとして、認知症カフェを開催していただき、認知症の方の参加も徐々に増え、皆さん楽しんでされています。また、法人の保育園児も認知症カフェに来られており、多世代の交流の場にもなっています。初期集中支援などの提案を今後も継続しつつ、ケースごとの検討を進めています。		
	認知症初期集中支援チーム発動件数		2		1		2		1							
	認知症カフェ(立上及び開催支援)	1	5	12	128	6	64	5	53							
	認知症サポートステップアップ講座		1	10	1	15	1	10	0	3						
	うち、他団域等との合同開催数		0	0				0	0							
	ボランティア等養成及び活動支援		1	5	3	246	1	5	5	6						
	うち、他団域との合同開催数		3	246				0	0							
任意事業	家族介護教室		1	5	10	145	5	72	3	14		家族が直面する課題に焦点を当て、学びの場を提供します。おひつ交換や体位交換などの負担軽減方法を学ぶ場を提供しています。講義だけでなく福祉用具の体験やシミュレーション学習を通して理解を深め、対象者のQOL向上を自覚します。	家族が直面する課題に焦点を当て、おひつ交換や体位交換などの負担軽減方法を学ぶ場を提供しています。講義だけでなく福祉用具の体験やシミュレーション学習を通して理解を深め、対象者のQOL向上を自覚します。参加者の固定が自立づため、市役所窓口や広報を活用し周知に力を入れています。	家族がすぐに活用できるような内容として、おひつ交換や体位交換、産業CMを講師に招いて介護難癖の防止等、家族の負担軽減方法を学ぶ場を提供していただけました。参加者の固定が自立づつことですので、今後広く周知し、より多くの方に参加いただければと思います。		
	出前講座等を含めた普及啓発(家族介護教室)			3	50			0	0							
	認知症見守り教室		2	10	10	136	5	68	1	8						
	出前講座等を含めた普及啓発(認知症見守り教室)			1	110			0	0							
	介護者家族交流会(立上及び開催支援)	1	5	7	40	3	20	3	14							
	介護者家族健康相談				1		1	0	0							
	認知症サポート養成講座(一般)			3	58	1	10	0	0							
	うち、他団域等との合同開催数		0	0				0	0							
対休日相談	認知症サポート養成講座(ジュニア)		1	10	0	0	1	10	1	4		家族が直面する課題に焦点を当て、おひつ交換や体位交換などの負担軽減方法を学ぶ場を提供しています。講義だけでなく福祉用具の体験やシミュレーション学習を通して理解を深め、対象者のQOL向上を自覚します。	家族が直面する課題に焦点を当て、おひつ交換や体位交換などの負担軽減方法を学ぶ場を提供しています。講義だけでなく福祉用具の体験やシミュレーション学習を通して理解を深め、対象者のQOL向上を自覚します。	家族がすぐに活用できるような内容として、おひつ交換や体位交換、産業CMを講師に招いて介護難癖の防止等、家族の負担軽減方法を学ぶ場を提供していただけました。参加者の固定が自立づつことですので、今後広く周知し、より多くの方に参加いただければと思います。		
	うち、他団域との合同開催数		0	0				0	0							
	夜間・休日に対面で相談対応した件数(計画の記載は不要)			1	1			0	0							

門真市第2地域包括支援センター活動計画書、活動報告書（令和7年度版）

資料1-②

●令和7年度当初の値	
圏域内の居宅介護支援事業所数	11
主任介護支援専門員の人数	14
介護支援専門員の数	14

令和7年度のケアプラン総数						
基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託プラン件数	委託率(%)	高齢者数／人口	高齢化率
令和7年3月	209	17	192	91.9%	6051人／22617人	26.7
令和8年3月					/	

事業	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績(4月~8月分)		当該年度実績		自己評価	前年度の反省を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容のまとめと課題(4月~8月分)		上半期実績に対する市の講評
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数			回数	人数	
ケア包括的継続的業務	事例検討会・研修会(法定外研修含む)	2		6	147	4	80	1	22				元気はつらつについては、何度も利用者の方やリハ職同行訪問のPTの方の意見も聞きながら検討し、実施に向けて動くが事業所に連絡すると2か月待ちになることが何度かあり、通所リハに切り替えた経験があった。事例検討や研修会は順調に実施され、元気はつらつ利用者(委託)数があげられる。委託で繋がりかけたケースもあったが、提供事業所の送迎範囲外であったため利用ができなかった。	上半期は、圏域居宅事業所に対して、研修会を5月に1回実施。事例検討会・研修会は下半期3回(11月2件、3月1件法定外研修及び事例検討会・研修会)を開催予定。課題として、元気はつらつ利用者(委託)数があげられる。委託で繋がりかけたケースもあったが、提供事業所の送迎範囲外であったため利用ができなかった。	事例検討会や研修会は定期実施をされており、定期的に実施しておられます。上半期には栄養士による研修会、下半期にはSSTによる研修会等、今後の予定も立てられておりケアマネジャーへの支援も計画されていることが評価できます。課題としておられる元気はつらつ利用者の数についても、訪問Cを利用している数の確認を検討しておられるため、期待をしています。	
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			1	22							
	ネットワーク会議(圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など)	2		4	55	4	40	7	160							
	元気はつらつ利用者数(直持ち)	10		0		5		2								
	元気はつらつ利用者数(委託)			0		5		0								
ケア地域会議	個別地域ケア会議 延べ件数(実件数)	延べ3		6		3		4					個別地域ケア会議においては、都度上がってきた案件に素早く対応していく。圏域ケア会議は初めて担当圏域の医師に参加してもらうことができたので今後も参加をお願いしていただきたいと思う。	圏域ケア会議は下半期10~11月に開催予定。課題は特になし。	地域課題の抽出を行い、継続して第二圏域での課題共有や解決に向けて、今後も取り組みをしていただけようお願いしたい。	
	圏域地域ケア会議	1		1		1	10	0	0							
把握事業	基本チェックリスト実施件数		30		48		40		14					初回訪問時やイベントの際に実施。状態をみて、予防教室等の情報提供を実施。課題は特になし。	今後もチェックリスト等の実施をお願いし、認知症初期状況も一緒に見て頂けたらと思います。	
普及啓発予防事業	介護予防教室	6	60	29	492	14	246	12	232				予防教室は順調に行われており、次年度は偶数月に音楽療法教室が増えてくることになっている。さらに活動につなげていくように努めていく。	予防教室は順調に行われている。下半期も継続。課題は特になし。	介護予防教室に力が入っていることが伺われ、1回の教室で20~30名が参加されている。今後は音楽療法教室も増えるという事なので、さらに参加されることを期待しています。	
	出前講座を含めた普及啓発			6	73			6	101							
	うち、他圏域との合同開催数			3	31			1	18							
地域支援事業防犯活動	通りの場への支援			4	88	2	44	5	5				長く続いている1つの教室が参加者が減ってしまい、通りの場でなく自由に集まれる時に形を変えていくことになった。段々と主になって動いてくれる人が減ってきててしまうのではないかと危惧される状態である。何とかこれ以上減ることのないようにアンテナを張っていきたい。	いき百代表に対して補助金の情報提供。令和8年1~3月間に「通りの場への専門職派遣依頼あり(ほがらか)」課題は「ボランティア等養成及び活動支援」扱い手がない	様々な場面において、ボランティアをすること自体が自身の介護予防につながること等を周知・啓発しているが、ボランティアの扱い手がない状況であり、市としても課題だと思います。現状ある通りの場を継続していくよう今後も支援をお願いします。	
	通りの場への専門職(リハ職等)派遣(派遣回数と通りの場の人数)	3	15	3	50	3	15	0	0							
	ボランティア等養成及び活動支援	1	10	0	0	1	10	0	0							
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			0	0							
介護予防拠点の開拓	地域包括支援センターが関わりのある通りの場の数と参加者数			6	109	7	114	5	102				通りの場がない地域での立ち上げに向けて支援員の方と協力をしながら行っていきたい。	遠見小学校区の寺町周辺にいき百姓がない。自治会等への声掛けを行っても現状、担い手がない。通りの場がない地域での立ち上げに向けてSCの方と協力をしながら行っている。	SC含め民生委員にも協力を得て、地域への声かけの方法など検討をお願いします。また、イズミヤで通りの場や介護予防教室を開催しているが、イズミヤ閉店に伴い開催場所の確保等も今後検討が必要と思われます。	
	年度内に立ち上げた通りの場数と参加者数	1	5	1	25	1	5	0	0							
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム対象者把握票実施件数		10		0		10		4				次年度は自治会長に連絡を取り、地域の方との連携や交流を図ることにより、様々な活動に繋げていけるよう努めていきたい。できれば、カフェも行いたいと思っている。地域の方との接点も大切にしながら進めていく。	8/1日に医療職が入職。認知症初期集中支援チーム対象者把握票実施件数4件。予防教室出前講座や生き百などで、自治会・民生委員、地域の方に認知症カフェ立上等の提案を行っているが、開催には繋がらず。現状、担い手がない。11/21日に門真第3地域包括と共に認知症ステップアップ講座を開催予定。	民生委員の改選が11月頃に予定されているため、その際に新たな民生委員から新たな関係を築き、支援に参加してもらおうと考えています。また、圏域内の活動スポットも確保して、認カフェや講座が利用できる箇所として、日頃より運営推進会議等で顔の見える関係であるG会等に声掛けをいただき、協力いただけるように勧めていただければと思います。	
	認知症初期集中支援チーム発動作件数		2		0		2		0							
	認知症カフェ(立上及び開催支援)	1	5	0	0	1	5	0	0							
	認知症サポートーステップアップ講座	1	10	1	7	1	10	0	0							
	うち、他圏域等との合同開催数			1	7			0	0							
	ボランティア等養成及び活動支援	1	5	0	0	1	5	3	97							
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			0	0							
任意事業	家族介護教室	1	5	3	20	2	15	2	18				認知症サポートー養成講座や認知症ステップアップ講座は行えているが、認知症ステップアップ講座ジュニアは、どこの包括でも今のところは実施は困難である。何とか行うことができるよう話し合っていきたい。また、家族介護教室も回数を増やす考えている。	上半期は高齢福祉課の協力もあり、門真小学校にて認知症ジュニアサポートー養成講座を開催できました。他、10月に認知症見守り講座開催予定。10月31日に認知症サポートー養成講座開催予定。介護者家族交流会に関して、今後、他包括の活動内容の助言を頂きながら実施に繋げていきたい。	ジュニアサポートーの実施ありがとうございました。家族介護者交流会は家族介護教室からの流れで対象者を見つけて頂いたり、認知症サポートー養成も講座などに参加して貰えた人を講座終了後に茶話会的な感覚から実施に繋げて頂ければと思っております。	
	出前講座等を含めた普及啓発(家族介護教室)			0	0			0	0							
	認知症見守り教室	2	10	1	6	2	10	0	0							
	出前講座等を含めた普及啓発(認知症見守り教室)			2	132			0	0							
	介護者家族交流会(立上及び開催支援)	1	5	0	0	1	5	0	0							
	介護者家族健康相談			0		0		0								
	認知症サポートー養成講座(一般)			3	21	1	10	0	0							
	うち、他圏域等との合同開催数			1	7			0	0							
	認知症サポートー養成講座(ジュニア)	1	10	0	0	1	10	1	60							
	うち、他圏域等との合同開催数			0	0			0	0							
対面休憩の相談	夜間・休日に対面して相談対応した件数(計画的配慮は不要)	X	X	実人数	延人数			実人数	延人数	実人数	延人数					
				0	0			1	1							

門真市第4地域包括支援センター活動計画書、活動報告書（令和7年度版）

資料1-④

●令和7年度当初の値

箇域内の居宅介護支援事業所数	18
主任介護支援専門員の人数	27
介護支援専門員の数	56

●令和7年度のケアプラン総数

基準月	ケアプラン作成数	直持チラシ件数	委託チラシ件数	委託率(%)	高齢者数／人口	高齢化率
令和7年3月	216	31	185	85.6%	7213人／25292人	28.5
令和8年3月					/	

事業	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績(4月～8月分)		当該年度実績		自己評価	前年度の反省を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容のまとめと課題 (4月～8月分)	上半期実績に対する市の講評
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数				
ケアマネジメントの継続的業務	事例検討会・研修会(法定外研修含む)	2		2	41	2	40	1	22			リハ職派遣や元気はつらつ教室の活用が進まない原因として、実際に体験し理解する機会がないためと思われ、前年度の研修や事例検討を踏まえ、今年度も委託を通じてリハ職派遣や元気はつらつ教室を活用する機会をもって頂けるようにケアマネジャーの後方支援を行う。	上半期リハ職派遣7件中3件はつらつ教室は5件中2件を委託先アマネジャーへと進めた。また、ケアマネジャーは件数が増えるにつれてアマネジャーへの依頼を深めています。	ケアマネジャーに対して伴走する形で丁寧にリハ職同行訪問や元気はつらつ教室を推進していくことを進めています。この取り組みで事業や介護予防ケアマネジメントの理解を深めてもらっています。	
	うち、他圏域との合同開催数		0	0				0	0						
	ネットワーク会議(圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など)	2	7	109	10	120	3	16							
	元気はつらつ利用者数(直持ち)	10	1	2			3								
	元気はつらつ利用者数(委託)		6	8			2								
ケア地域会議	個別地域ケア会議 延べ件数(実件数)	延べ3	4	5			2					新たな課題抽出のためにも、圏域地域ケア会議の参加者を員員し開催する。個別会議については、支援者への個々の連携で支援が進むことが多いが、支援者同士の連携作りを意識し、開催判断を早期に行う。	地域の意見から防災について課題抽出できるようDIG(災害図上訓練)を企画している。個別会議では早期に開催判断はしたが、課題や支援者が多岐にわたり開催時期が難しく引き続き早期の判断と開催準備に努める。	今後予定される防災についての圏域ケア会議は、日ごろ意識しない内容のため有意義なものになると思います。	
	圏域地域ケア会議	1	1	1	10	0	0								
把握事業	基本チェックリスト実施件数		30	35	40		34					高齢者自身が昨年の結果と比較しフレイル予防等のきっかけに出来るよう継続した啓発を行なう。	四つ葉教室や通いの場で実施し、高齢者自身の介護予防意欲が高まるよう努め、下半期も啓発を継続する。	高齢者自身に自分の状態把握や変化に気づ力を養うに着けてもらうとともに変えてすので、引き続きチェックリスト等の実施をお願いします。	
普及・介護予防事業	介護予防教室	6	60	10	262	8	160	4	109			毎月定例の四つ葉教室は、様々な通いの場や関係機関に開催周知を行い参加者の増加など活性化を図る。地域の集まりの場などを把握してまことに足を運び介護予防についての周知を図る。	四つ葉教室の開催チラシを医療機関や公的機関、通いの場、郵便局などに設置している。今年度に入りて参加が始めたところなど25名前後となり、引き続き周知していく。老人会やまちかどハイバスなどにも出向き教室等の開催を広げていく。	定期的に実施されていることもあり、地元の方が友人等を連れて参加するなど、新しい参加者が増えていること後も地域の方からの紹介などで、普段教室に参加しないような方が増えることを期待します。	
	出前講座を含めた普及啓発		10	972			1	6							
	うち、他圏域との合同開催数		0	0			0	0							
地域支援事業予防活動	通いの場への支援		7	66	8	70	1	12				市民が自動的に立ち上げを希望されるよう、通いの場が立ち上がりっていない四宮校区を中心に地域の集まりなどにこまめに出向き、日ごろからの啓発などいわゆる種まきを行っていく。活動中の通いの場にはリハビリ派遣など様々な提案を行い活性化を図る。	半年ごとの体力測定が必要でなくなりことから、希望グループのみへの実施などしている。通いの場が活性化していくうち、認知症サポートー養成講座やオーラップ講座、基本チェックリストなど介護予防説明などを計画的に行っていく。	体力測定が必須でなくなりことで各通いの場への開拓や生活支援イニシアチーブなどの実施などでも個別に周知している。今年度に入りて参加が始めたところなど25名前後となり、引き続き周知していく。老人会やまちかどハイバスなどにも出向き教室等の開催を広げていく。	
	ボランティア等養成及び活動支援	1	0	0	1	10	0	0							
	うち、他圏域との合同開催数		6	281			0	0							
介護予防発達支援系の	地域包括支援センターが関わるのある通いの場の数と参加者数		16	213	17	220	8	93				いきいき100歳体操以外の集まりの場の把握を行い、出前講座や認知症サポートー養成講座など会の活性化や連携強化のための関わりを増やしていく。	通いの場がない四宮校区へも出前講座などもしているが、四宮圏域でもあり空き時間に合致した割りがまだ行えていよい。他地域では生活支援コメディーターからの声掛け等とも連携しあり立上げが出来た。	通いの場がない四宮校区へのアプローチに向けて、一度SCも含め、資源を使用できる施設などを洗い出しや地域への声かけの方法などを検討することも検討していくべきだ。	
	年内に立ち上げた通いの場の数と参加者数	1	5	2	20	1	7	1	23						
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム対象者把握実施件数		10	0	10		4					総合相談の早い段階でチーム対象者が検討しつつも発動できるよう全職員に研修(伝達)を行う。認知症サポートー養成とステップアップを計画的に開催できるよう複数年度での計画する。他包括を参考にしてスタッフアップの内容を検討する。第5回までの共同開催認知症見守り教室から認知症カフェについても検討する。	初期集中支援チームの対象となるかの検討を早い段階で行っていることは助かります。発動しなかった場合、その理由の積み重ねをうつしチームの在り方の検討を行なったが、協力いただけました。見守り会場から会場への移動は、地域認知見守り教室から会場への移動する。工夫が必要だと思います。ボランティア等養成などを活用しながら認知症カフェの立ち上げに引き続き取り組みを進めていただきたい。	初期集中支援チームの対象となるかの検討を早い段階で行っていることは助かります。発動しなかった場合、その理由の積み重ねをうつしチームの在り方の検討を行なったが、協力いただけました。見守り会場から会場への移動は、地域認知見守り教室から会場への移動する。工夫が必要だと思います。ボランティア等養成などを活用しながら認知症カフェの立ち上げに引き続き取り組みを進めていただきたい。	
	認知症初期集中支援チーム発動件数		2	0	2		0								
	認知症カフェ(立上及び開催支援)	1	5	0	0	1	5	0	0						
	認知症サポートーステップアップ講座	1	1	9	1	10	0	0							
	うち、他圏域との合同開催数		0	0			0	0							
	ボランティア等養成及び活動支援	1	6	288	6	250	0	0							
	うち、他圏域との合同開催数		0	0			0	0							
任意事業	家族介護教室	1	5	2	58	1	30	1	34			ナーシングホーム智鷲を活用して第5包括との境界地区に集いの場が少ないという地域課題を解消し、見守りのいる地域づくりに取り組む。要介護認定後も支援に直ぐにつながらない場合等の介護者家族の健康や経済的な相談にも対応していく。対象者を再検討しジュニアへの認知症サポートー養成講座の開催に取り組む。	認知症委員会で第5包括と共に開催しているが、参加者に波があり定着には時間がかかる。認知症サポートー養成講座は通いの場の活性化を目的として計画的に開催している。ごく多くは5歳から6歳の子供たちが参加する。地域認知見守り教室から会場への移動する。工夫が必要であるため、工夫が必要だと思います。ボランティア等養成などを活用しながら認知症カフェの立ち上げに引き続き取り組みを進めていただきたい。	ごく多くは5歳から6歳の子供たちが参加する。地域認知見守り教室から会場への移動する。工夫が必要であるため、工夫が必要だと思います。ボランティア等養成などを活用しながら認知症カフェの立ち上げに引き続き取り組みを進めていただきたい。	
	出前講座等を含めた普及啓発(家族介護教室)		0	0			0	0							
	認知症見守り教室	2	10	4	85	2	50	1	5						
	出前講座等を含めた普及啓発(認知症見守り教室)		2	300			1	15							
	介護者家族交流会(立上及び開催支援)	1	5	0	0	1	5	0	0						
	介護者家族健康相談		4	3		1		1							
	認知症サポートー養成講座(一般)		6	105	3	60	3	37							
対面相談	うち、他圏域等との合同開催数		0	0			0	0				認知症サポートー養成講座の実施にご協力いたしました。今後、定期的に実施できるようになっていきます。他圏域で小学校単位は別に、地域の小学生向けに認知症サポートー養成講座を実施しているため、様々な年代に向けた認知症サポートー養成講座の実施に向けて方法や内容などを検討して顶けます。	認知症サポートー養成講座の実施にご協力いたしました。今後、定期的に実施できるようになっていきます。他圏域で小学校単位は別に、地域の小学生向けに認知症サポートー養成講座を実施しているため、様々な年代に向けた認知症サポートー養成講座の実施に向けて方法や内容などを検討して顶けます。	認知症サポートー養成講座の実施にご協力いたしました。今後、定期的に実施できるようになっていきます。他圏域で小学校単位は別に、地域の小学生向けに認知症サポートー養成講座を実施しているため、様々な年代に向けた認知症サポートー養成講座の実施に向けて方法や内容などを検討して顶けます。	
	認知症サポートー養成講座(ジュニア)	1	10	0	0	1	10	1	38						
	うち、他圏域等との合同開催数		0	0			0	0		</td					

門真市第5地域包括支援センター活動計画書、活動報告書（令和7年度版）

資料1-⑤

●令和7年度当初の値	
圏域内の居宅介護支援事業所数	16
主任介護支援専門員の人数	23
介護支援専門員の数	40

●令和7年度のケアプラン総数						
基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託プラン件数	委託率(%)	高齢者数／人口	高齢化率
令和7年3月	341	29	312	91.5%	9213人／29641人	31.1
令和8年3月					／	